

審査結果についての審査委員長コメント

去る7月12日に旧割烹小幡運営予定者選定のための公開プレゼンテーション及び8人の審査委員による審査会が開催されました。

この度は市内の事業者2社からの応募が有り、どちらの事業者からも旧割烹小幡再生への想いや北前船により酒田が発展してきた歴史を大切に考えた、日和山界限のにぎわいの創出に向けた取り組み計画についてプレゼンテーションを行っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

審査委員会の中では、審査委員個々による採点のほか、申請内容の実現性や北前船の歴史や酒田の食文化とのイメージの整合性、資金計画の計画性などが議論されました。

採点結果は800点満点中A社が520点、B社が647点となりましたので、B社の株式会社平田牧場様を運営予定者として選定いたしました。

旧割烹小幡の通称であった「瞰海楼」を復活させ、この施設を日和山のにぎわいの拠点とする計画や自社の食に対する安全安心な取り組み、平田牧場という確立したブランドを活用した誘客計画など、魅力溢れる提案は、旧割烹小幡が酒田の新たな観光シンボルとなることを大きく期待させる内容で、とても素晴らしいものでした。

また、市で運営予定の2階スペースにつきましても、コミュニティスペースやコワーキングスペース、有事の際には避難場所として活用するなど公益性の高い活用でご提案いただいた部分につきましても評価が高かったところでございます。

しかしながら、審査に際しましては、両事業者とも事業計画内容の実行性に対する懸念などの意見もございましたが、この度、運営予定者として選定された株式会社平田牧場様におかれましては、事業計画の実現に向けて頑張っていたいただきたいとのことで委員会の意見は一致したところです。

今後、施設整備に伴い、運営予定者とさらに協議を進めながら、市民に喜ばれる良い施設を完成させると共に、株式会社平田牧場様をはじめ、観光関連の各団体の皆様との協働により、日和山界限のにぎわいの創出に向け努力していきたいと思います。

審査委員長 矢口 明子（酒田市副市長）
委員 弦巻 伸（酒田商工会議所会頭）
委員 山岸 勝美（旧割烹小幡を保存活用する会会長）
委員 平尾 清（酒田市産業振興まちづくりセンター政策参与）
委員 小山 恵子（一般社団法人山形県建築士会酒田支部副支部長）
委員 関根 近子（酒田ふるさと観光大使）
委員 阿部 勉（酒田市企画部長）
委員 大沼 康浩（酒田市地域創生部長）